



かしわの木

平成31年1月10日
東村山市立東村山第五中学校

子供たちの可能性を阻むもの

校長 安藤 環

新年あけましておめでとうございます。本年も本校の教育活動につきまして、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新しい年が始まりました。子供たちも新年に向けて新たな目標を立てたことと思います。しかし、私たち大人にとっても、新年の初めに立てた目標を実現することは、なかなか難しいものです。同じように、子供たちにとっても、新年の初めに立てた目標を実現することはそう簡単なことではありません。

特に、中学生の子供たちにとって、その可能性を阻害する一言があります。

それは「面倒くさい」です。

子供たちは日常の中でよくこの言葉を口にします。



例えば、私たち大人は子供たちに「勉強しなさい」とよく言います。すると子供たちは「あとでやる」と答えます。

「なぜやらないの」と問いただすと、

「だって面倒くさいもん！」

大体このようなやりとりが多いのではないのでしょうか。子供たちも、自分ではわかっています。自分でも勉強しなきゃなと思っています。でも勉強する気にならない。それはなぜでしょう？

それは面倒くさいからです。掃除するのが面倒くさい。片づけするのが面倒くさい。お風呂に入るのも面倒くさい。しまいには食事するのも面倒くさい。そんな子もいるかもしれません。

しかし、たかが「面倒くさい」だけで自分の可能性を伸ばすことができないのであれば、なんてもったいないことでしょう。この「面倒くさい」という気持ちを我慢するだけで、子供たちの人生が大きく開けるかもしれないのです。勉強だってできるようになるかもしれない。ひょっとしたらピアノだって弾けるようになるかもしれないし、絵だって上手に描けるようになるかもしれない。

では、どうやって「面倒くさい」という気持ちを克服するのか。

私は一つにあせらないことだと考えています。子供たちはすぐに結果を求めようとします。でも、その結果がすぐに表れないと、「無理」と思ってあきらめてしまい、面倒くさくなってしまふのだと考えています。また、ひょっとしたら、子供たちにすぐに結果を求めているのは私たち大人なのかもしれません。

次に、小さな目標を立てることが大切だと考えます。小さな目標であれば、実現が可能になり、やる気も出れば、実現する達成感も味わうことができます。そしてそれはまた新たなやる気につながるのだと考えます。

これはだれでもできることです。私たち大人も、あせらずに少しずつゆっくと、という気持ちで子供たちに寄り添い、「面倒くさい」という気持ち克服できるようにしてあげたいと思います。



「税についての作文」・「税の標語」

12月7日（金）に市民センターで、税についての作文・税の標語で表彰式がありました。本校からは3名の生徒が選ばれ表彰を受けました。

☆「税についての作文」

- ・3年生の南さんが「人が生んだ気づき」で、多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しました。
- ・3年生の田中さんが「身近な税」で、一般社団法人東村山青色申告会会長賞を受賞しました。

☆「税の標語」

- ・1年生の鈴木さんが、「時を越え みんなの未来 支えてく」で、一般社団法人東村山青色申告会会長賞を受賞しました。

全国中学校人権作文コンテスト

12月18日（火）に人権作文の表彰式が市民センターでありました。本校からは2年生の森さんが「人権とは」で、東村山市人権擁護委員賞を受賞しました。

音楽部クリスマスコンサート

12月19日（水）昼休みに1階旧昇降口にて音楽部クリスマスコンサートを今年も行いました。「RAIN」「クリスマスメドレー」「なんでもないや」の3曲の合唱を披露しました。多くの生徒が集まり素敵なコンサートとなりました。



紙芝居を活用した道德の授業

12月22日（土）の公開授業の日に、紙芝居サークル「原っぱ」の方々のご協力により、紙芝居を活用した道德の授業を行うことができました。紙芝居の内容は各学年で、1年生は「さだ子の願い」、2年生は「嘉代子ざくら」、3年生は「白旗をかかげて」でした。「原っぱ」の皆さんの語りはずばらしく、生徒たちは紙芝居に引き込まれて集中したひと時を過ごしました。



生徒会サミット

12月26日（火）生徒会サミットがありました。今年度は「我がまち 東村山市の中学生によるボランティア活動！」～中学生として防災活動について考え、他者と協力して、自分たちにできることを発信しよう！～をテーマに話し合いました。本校からは「海外での防災教育について」発表をしました。1月27日（日）に中央公民館ホールで行われる「市民の集い」でも発表があります。

<男子バレーボール部>

清高杯 優勝

